

## 考察

- ・ 第2期の予防接種率は県全体で24.6%であった。調査期間が4～5月の2ヶ月間ではあるが、麻しんの流行時期(春先から初夏)を考えると低いと思われる。
- ・ 第3期は、30市町村が学校での集団接種を併用している。集団接種を併用している市町村と個別接種のみの市町村では、接種率に明らかな差が見られる。
- ・ 第4期は、3市町村が保健センターでの集団接種を併用している。集団接種を併用している市町村は接種率が高い。
- ・ 接種率の市町村格差・学校格差が大きい。

### (3)「予防接種の促進」のための提言

- ・ 市町村においては、現時点で、第1期～第4期の未接種者を把握し、個別のはがきや電話による丁寧な接種勧奨を行う。
- ・ 学校においては、現時点で、未接種者を把握し、個別に接種勧奨を行う。
- ・ 第2期予防接種対象者については、必ず就学时健康診断時に確認調査を行い、未接種者に対して接種勧奨を行う。
- ・ 第3期予防接種対象者については、各中学校等における集団接種の実施を検討する。
- ・ 第4期予防接種対象者についても、各市町村保健センター等を会場とした集団接種の実施を検討する。